

令和4年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（保健体育）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 新体力テストについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 下の表1は【中学2年生(14歳)男子の新体力テストの全国平均値とA中学校平均値】である。後の①、②の問いに答えなさい。

<表1>

種目	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	50 m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ハンドボール投げ (m)
全国	30.03	27.84	45.48	53.86	377.78	7.80	201.67	21.38
A中学校	27.52	27.94	46.58	54.21	398.50	7.77	200.13	22.74

① 表1の全国とA中学校の平均値を比較し、課題として考えられることを、種目と体力要素を関連付けて、書きなさい。

② ①の課題から一種目を選択し、体育の授業において、その課題を解決するための手立てを、具体的に書きなさい。

(2) 体力の向上を目指したり、運動の機会を確保したりするためには、学校の教育活動全体において、様々な活動を設定する必要がある。保健体育の授業以外で、体力の向上や運動機会の確保につながる活動を、具体的に書きなさい。

2 第2学年の体育理論「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 図1は、体力3要素の年間発達量の変化を表したグラフである。このグラフを使って、「発達の段階を踏まえて、適切に運動やスポーツを行うことは、身体の機能や体力等の向上に効果がある」ことを、生徒に気付かせたい。中学生の時期(12歳～15歳)に適した運動について、グラフから根拠を示し、書きなさい。

<図1>

(2) 安全に運動やスポーツを行うためには、「特性や目的に適した運動やスポーツを選択し、発達の段階に応じた計画を立案することが重要である」ことを生徒に理解させたい。発達の段階に応じた計画を立案する際、配慮すべき事項について、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編」を踏まえ、「強度」の他に、2つ書きなさい。

(3) 野外で運動やスポーツを行う際には、自然や気象に関する知識をもち、事前に危険を回避する必要がある。生徒に理解させたい具体的な場面における危険性とその対応について、書きなさい。

3 第1学年の器械運動の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 器械運動を学習する前に、生徒に意識させるべき「安全上の留意点」を、3つ書きなさい。

(2) 「マット運動」の学習について、次の①～③の問いに答えなさい。

① 「伸膝後転」で起き上がれない生徒に対して、起き上がる感覚を実感させるためのマットを使った場の設定を、設定理由を含め、具体的に書きなさい。

② 「倒立」の練習において、二人組をつくり、一人が壁を利用して倒立を行い、もう一人が教師の用意したポイントを示した資料と比較して、倒立の形をアドバイスする時間を設定した。生徒に示す体の使い方に着目したアドバイスを、具体的に書きなさい。

③ 「側方倒立回転」において、腰や脚が上がらない生徒に対して、腰や脚が上がっていくことを実感させるような用具を用いた練習の工夫を、具体的に書きなさい。

(3) 「平均台運動」の学習について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 台上で「前方歩」する時の姿勢について、指導する際の具体的なポイントを、説明しなさい。

② 「両足ターン」がうまくできずバランスを崩してしまう生徒に対して、「両腕を振り上げながらターンをしよう」とアドバイスをした。その意図を書きなさい。

4 第3学年の陸上競技「ハードル走」の学習について、授業を構想する際に考えておきたいポイントとして、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 生徒に身に付けさせる技能について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」の例示を踏まえ、2つ書きなさい。

(2) 生徒が安全・安心に学習を進めるための工夫について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 生徒が、けがを怖がらずハードル走に取り組めるようにするための用具の工夫を、具体的に書きなさい。

② 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた学習活動の工夫（「消毒」や「マスクの着用」に関することは除く）を、具体的に書きなさい。

(3) 単元を通して、技能の向上に加え、体力の向上についても、生徒に意識させたい。ハードル走に関連して主として高まる体力要素を2つ書きなさい。また、単元を通して、その体力要素を高めるための手立てを、具体的に書きなさい。

(4) ハードルを走り越えた後、着地で後方にバランスをくずしている生徒がいる。この生徒がバランスをくずさずにハードル走ができるようにするためのアドバイスについて、着地で後方にバランスをくずす原因に触れながら、具体的に書きなさい。

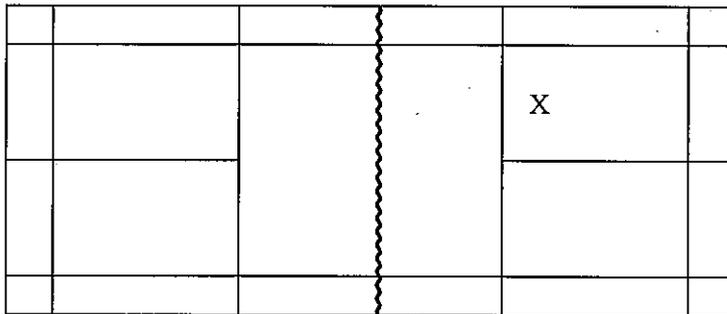
- 5 第3学年の球技「バドミントン」の学習について、下の表2のような単元計画を作成した。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

<表2>単元計画

過程	時間 (分)	つかむ	追究する				まとめる
			1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	
学 習 活 動			あいさつ 健康観察 準備運動 補助運動 めあての確認				
	10	1 オリエンテーション ・種目の特性 ・授業の確認	1 サービスの練習 ・ロングハイサービス	1 ストロークの練習① ・アンダーハンドストローク (フォアハンド)	1 ストロークの練習② ・C <u>オーバーヘッドストローク</u> (クリア・スマッシュ・ドロップ)	1 ストロークの練習③ ・オーバーヘッドストローク (クリア・スマッシュ・ドロップ)	1 ダブルスゲーム
	20	2 ラケットの持ち方を確認する	・ショートサービス	・バックハンド)	・C <u>オーバーヘッドストローク</u> (クリア・スマッシュ・ドロップ)	・オーバーヘッドストローク (クリア・スマッシュ・ドロップ)	
	30	3 単元の見通しをもつ	2 <u>A サービスゲーム</u>	2 <u>B 定位置に戻るステップ練習</u>	2 ラリーゲーム	2 ヘアピンの練習	
	40			3 ラリー練習		3 <u>D シングルスゲーム</u>	・単元のまとめ
50		学習のまとめ 振り返り 片付け					

- (1) 下線部Aにおいて、授業の前半で練習したサービスの定着を図るため、サービスゲームを行うこととした。図2のXからサービスを打つこととして、生徒が楽しみながらサービスの打ち方を身に付けられるゲームの設定について、具体的に書きなさい。
なお、ラケットとシャトル以外の用具も使ってよいこととする。

<図2>



- (2) 下線部Bにおいて、定位置に戻るステップ練習を行ったところ、生徒から「何のために定位置に戻るのですか」という質問が出たので、質問に回答したい。定位置に戻る理由について、簡潔に答えなさい。
- (3) 下線部Cにおいて、クリアとスマッシュを打ち分ける練習を行ったところ、スマッシュの打てない生徒がいた。二人組で ICT 機器を活用し、フォームとラケットの面の角度を分析して、その課題を解決させたい。
フォームとラケットの面を撮影する際、どの方向から撮影するとよいか、書きなさい。また、撮影した映像を確認しながらアドバイスする際のポイントを、具体的に書きなさい。
- (4) 下線部Dのゲームにおいて、相手にスマッシュを打ち込まれ、失点する生徒がいたので、相手にスマッシュを打たせないような位置に返球するアドバイスをしたい。返球のアドバイスを、具体的に書きなさい。

- 6 第3学年の武道「柔道」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。
- (1) 相手の投げ技に対応できるように、実際の投げ技に近い形で「横受け身」の練習をさせたい。二人組で行う練習方法とその際の注意点を、具体的に書きなさい。
 - (2) 「大内刈り」から「背負い投げ」へ連絡して投げる約束練習を行うこととした。「大内刈り」から「背負い投げ」に入るタイミングと体の使い方について、それぞれ指導するポイントを、具体的に書きなさい。
 - (3) 単元のまとめとして、体格や技量が同程度の生徒同士で行う簡易試合を計画した。生徒の安全を重視した簡易試合となるようなルールの工夫について、2つ簡潔に書きなさい。
- 7 第2学年の「傷害の防止」について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。
- (1) 「交通事故による傷害の防止」の学習を行う際、身近な生活と結び付けて、交通事故の危険予測と回避について考えさせたい。身近な危険を予測し、行動することを考える場面で提示する資料を、具体的に書きなさい。
 - (2) 自然災害が起きると、人々の不安な心理などから間違った情報が流れやすくなり、被害が拡大してしまうことがある。災害時に、情報を活用する際の注意点を書きなさい。
 - (3) 「応急手当」について、次の場面設定を踏まえ、後の①、②の問いに答えなさい。

場面設定：「下校途中の通学路で、腕から出血し、倒れて動けない生徒がいる」

- ① 第一発見者が最初の段階で行う行動を、書きなさい。
- ② 上記の場面を想定した応急手当の実習を行いたい。具体的な実習を、2つ書きなさい。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
-----------	---------	------	--	----	--

(4年)

1	(1)	①			
		②	<種目>	<手立て>	
	(2)				

2	(1)				
	(2)				
	(3)				

3	(1)	○			
		○			
		○			
	(2)	①			
		②			
		③			
	(3)	①			
②					

4	(1)	○			
		○			
	(2)	①			
		②			
	(3)	<体力要素>			
	<手立て>				
(4)					

保健体育 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
-----------	---------	------	--	----	--

(4年)

5	(1)	
	(2)	
	(3)	<撮影の方向> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ポイント>
	(4)	

6	(1)	<練習方法> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <注意点>
	(2)	<タイミング> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <体の使い方>
	(3)	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

7	(1)				
	(2)				
	(3)	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> </td> </tr> </table>	①		②
①					
②	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>				

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号	氏名	(4年)
-----------	---------	------	----	------

1	(1)	①	握力、持久走、立ち幅跳びにおいて全国平均値を下回っているため、筋力や全身持久力、瞬発力を高める運動を実施する必要がある。 など (6点)	
		②	<種目> 立ち幅跳び	<手立て> 準備運動において、補助運動として連続開脚ジャンプを10回行う。 など (9点)
	(2)	週1回、全校生徒で長距離走や長縄跳びなどを行う体育集会を実施する。 など (5点)		
2	(1)	中学生の時期は、粘り強さの年間発達量が大きいので、持久力を高めるような長距離走などに取り組むことが適している。 など (6点)		
	(2)	時間	頻度 (各2点 4点)	
	(3)	夏の午後、校庭でサッカーの授業中、雷鳴がしたら落雷の危険性があるので、活動を中止し、屋内に移動する。 など (10点)		
3	(1)	<input type="radio"/> 器具の安全確認 <input type="radio"/> 十分な準備運動 <input type="radio"/> 十分な活動スペースの確保 など (各2点 6点)		
	(2)	①	マットを重ねて段差をつけ、着地を低くすることで、重心が下がり起き上がりやすくなる。 など (10点)	
		②	肘や膝の関節をしっかり伸ばそう。 など (4点)	
		③	脚を伸ばすと届く位置にゴムひもや風船などを準備し、蹴る意識をもち、脚を上げる練習。 など (10点)	
	(3)	①	両腕を水平に伸ばし、顔は正面を向き、バランスをとるようにする。 など (5点)	
		②	重心を上を移動させ、体の軸を安定させるため。 など (5点)	
	4	(1)	スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すこと。 (5点)	
遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げ、ハードルを低く走り越すこと。 など (5点)				
(2)		①	ハードルのバー部分にタオルなどやわらかい物を巻き、接触時の痛みに対する不安を軽減する。 など (5点)	
		②	ハードルのコースを2メートル以上空け、移動の導線を一方にする。 など (5点)	
(3)		<体力要素>	俊敏性	瞬発力 (5点)
		<手立て>	補助的な運動として、毎時間ミニハードルの連続跳びを行う。 など (5点)	
(4)	着地の足が腰の位置より前になると後ろにバランスをくずしやすくなるから、振り上げ脚をすばやく振り下ろして、着地の足が腰の位置より前に出ないようにしてみよう。 など (10点)			

以下はあくまでも解答の一例です。

保健体育 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
-----------	---------	------	--	----	--

(令和4年)

5	(1)	サービスコートにフラフープを4つ置き、2種類のサービスを交互に計10回行い、何個入れられたかを競うゲーム。 など	(10点)
	(2)	相手の攻撃に対して、空いた場所を作らないようにし、次の攻撃に備えるため。 など	(10点)
	(3)	<撮影の方向> 打っている生徒の真横から など	(4点)
		<ポイント> 体の前でシャトルを打つようにし、ラケットの面が斜め下に向いている。 など	(6点)
	(4)	ドロップなどを使い、相手に腰より低い位置で打たせるような場所にシャトルを打とう。 など	(10点)

6	(1)	<練習方法> 膝車の練習の中で、受は膝をつき、取が左足で支えて転がし、受は横受け身をする。 など	(3点)
		<注意点> 取は引き手を離さないようにし、受けはあごを引いて頭を打たないようにする。 など	(3点)
	(2)	<タイミング> 受が後方へバランスを崩し、前方へ体を立て直そうとしたタイミングで入る。 など	(5点)
		<体の使い方> 引き手を斜め上に引き、膝を曲げて背中全体で受をかつぐ。 など	(5点)
	(3)	授業で教わった技のみを使う。	(2点)
		1試合を1～2分と短めに行う。 など	(2点)

7	(1)	校区内の交通事故が起こりそうな危険な場所の写真 など	(5点)
	(2)	テレビやラジオ等から、正確な災害情報や防災情報等を把握すること。 など	(5点)
	(3)	① 周囲の安全の確認	(4点)
		② ビニール袋やタオル等を使った、直接圧迫止血法の実習	(3点)
		ダミー人形を使った、心肺蘇生法の実習 など	(3点)